

本市名誉市民である仲代達矢様の訃報に接し、謹んで心からお悔やみ申し上げます。

仲代達矢様が主宰されました無名塾と七尾市との交流は今年で 40 周年、また、仲代様が名誉館長を務められる能登演劇堂は開館 30 周年の節目を迎えました。去る 9 月には記念のトークショーを開催したばかりであり、この突然の悲報に接し、深い悲しみと驚きを禁じ得ません。

昭和 60 年に、当時の中島町にて「無名塾」の合宿を開始されて以来、市民との交流を深く重ねられ、いつしか仲代様が「第 2 の故郷」と語られるほどの強い絆が生まれました。

平成 7 年の「能登演劇堂」開館以降、仲代様には毎年のように同館を初日公演の地として全国公演を続けられました。全国から多くの観劇客を迎え、市の交流人口の拡大と地域活性化に多大なる貢献をしてくださいました。

令和 6 年能登半島地震の際も、仲代様はいち早く温かいお言葉を掛けてくださり、無名塾からもボランティアに駆けつけていただきました。さらに、今年 5 月には復興公演として、仲代様が主演を務められた「肝っ玉おっ母と子供たち」を、全 20 回にわたり公演していただきました。その圧巻の芝居に多くの方が感動の涙を流されたことは、今なお私たちの胸に深く刻まれております。

仲代達矢様のこれまでの多大なるご功績に深く敬意を表するとともに、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

令和 7 年 11 月 11 日
七尾市長 茶谷義隆